（令和2年度後期　学部）

後期授業料免除申請のしおり

【学部生用】

鳴　門　教　育　大　学
学　生　課　学　生　係

Ⅰ．対象者

（１）　大学等における修学の支援に関する法律による独立行政法人日本学生支援機構の給付型奨学金（以下，「給付型奨学金」という。）の奨学生である者

（２）　給付型奨学金の在学採用(秋期)の申込を行う予定の者
（本申請と共に，必ず給付型奨学金（在学採用）の申込を行ってください。給付奨学金の申込については，日本学生支援機構から連絡があり次第，掲示にてお知らせします。）

※ 上記以外で授業料免除申請をしようとする者は，学生課学生係まで問い合わせてください。

※ 家計が急変した場合は，別途対応しますので，学生課学生係まで問い合わせてください。

Ⅱ．評価基準及び免除額

給付型奨学金の奨学生であることをもって，授業料免除申請の家計及び学業成績の基準を満たしたものとし，給付奨学金の判定区分に従い，以下のとおり免除額を決定します。

・第Ⅰ区分（全額免除）　・第Ⅱ区分（２／３額免除）　・第Ⅲ区分（１／３額免除）

【経過措置について】

令和２年度において２年生以上の学部学生で，希望する者については，新選考基準による選考と併せて令和元年度と同じ選考基準による選考を受けることができます。

新選考基準による選考と併せて旧選考基準による選考(経過措置)を希望する者は，家計等を評価する書類（「Ⅳ．提出書類」（４)～(１４)参照。以下，家計等を評価する書類と表記）を提出期限までに提出してください。提出期限までに「家計等を評価する書類」の提出ができない者は，経過措置の適用を辞退したものと見なします。

経過措置を希望しない場合や１年生は，新選考基準による選考のみ行います。

〈経過措置を希望する者の扱い〉

① 家計等を評価する書類を提出することにより，令和元年度と同じ選考基準による学内選考を行う。判定結果は従来どおり以下の区分とする。

判定結果　：　全額免除　・　半額免除　・　不許可

② **新制度の下で免除額が減少する学生**に対し，**①の判定結果による免除額を上限に**差額を支援する。

なお，令和元年度の制度での家計及び成績の評価基準は以下のとおりです。

○ 家計評価の基準

家計の評価は，世帯の１年間の総所得金額により行います。（住宅建設，その他の借財は考慮できません。）また，配偶者がいなく，父又は母がいる場合は，原則として，独立生計者として認めることはできません。（私費外国人留学生を除く。）

経済的理由により授業料の納付が困難であることを認定するための家計評価基準については，所得の種類・特別控除額・世帯人数等により異なるため一律に説明することはできません。

○ 成績評価の基準

２年生以上：前年度までの成績（４段階評価の成績換算値）

１年生：出身高等学校の成績（私費外国人留学生は入試の成績）

※ 経過措置の適用を希望する者は，「授業料免除申請チェック表」のチェック欄に必ずチェックマークを入れておいてください。

Ⅲ．申請手続

（1）　提 出 方 法　　原則として，学生課学生係へ本人が持参すること。
受付時間は，午前8時30分から17時15分までとします。
（土日祝日は除く）
ただし，新型コロナウイルスの感染防止等のやむを得ない理由により直接持参ができない場合は，郵便（**特定記録**もしくは**簡易書留**）による提出を認めます。**特定記録もしくは簡易書留によらず発送した場合において，申請書類が学生課に届かない場合には，提出が無かったものと見なします**。発送の際，郵便局で受け取った**受領証は必ず保管**しておいてください。

（2）　申 請 期 限　　**令和2年10月15日（木）17時15分まで（厳守）**
郵送の場合は，10月15日（木）必着
期限を過ぎた場合は一切受理できません。

（3）　結 果 通 知　　学生用掲示板にて周知し，学生課学生係窓口で選考結果通知書を交付します。（12月下旬予定）

（4）　注 意 事 項　　授業料免除申請者は，**結果が判明するまでは授業料を納付しないでください**。
※ 授業料免除申請者は，授業料口座振替申込書を提出していても10月，11月の引落は行いません。

（5）　そ　の　他　・提出書類の内容等について**各申請者に確認や質問をする時は，各人の学内メールアドレス(学籍番号@naruto-u.ac.jp)又は携帯電話へ連絡をします**ので注意しておいてください。０８８－６８７－６○○○の電話番号から着信があった場合，大学のいずれかの部署からの電話ですので，電話に出られないときは折り返し連絡をください。
・申請書類に関して分からないことがあれば，学生課学生係まで問い合わせてください。
（　電話　088-687-6119　　E-mail　kousei@naruto-u.ac.jp　）

Ⅳ．提出書類

以下の書類を提出してください。こちらからの連絡に応対せず，書類に不備がある場合は，免除は不許可となり，支援を受けることができません。

【申請者全員が提出する書類 】

（1）　授業料免除申請チェック表
① 所属，氏名，電話番号及び学籍番号記入し，書類不備がないか確認してください。
② 「該当者の続柄」欄には，該当者の続柄を記入しておいてください。(経過措置を希望する場合)

（2）　申請時点で給付奨学生である場合とない場合で**提出書類に違いがあります**。
給付奨学生の場合，次のｉｉの書類を提出。
ｉ 大学等における修学の支援に関する法律による授業料減免の対象者の認定の継続に関する申請書(以下，継続に関する申請書と表記)
ii 給付奨学生であることを証明する書類
(奨学生証など，奨学生番号が記載された書類の写し)

① ｉについては，本人が自署してください。
② 継続に関する申請書(ｉ)にある「過去に本制度の・・・」の「本制度」とは，2020年4月から始まった「高等教育の修学支援制度」を意味します。

③ 継続に関する申請書（ｉ）において，「過去に本制度の支援を受けた学校名，期間」欄に記入する必要があるのは，本学入学以前に他の大学等で本制度の支援を受けたことがある場合です。

④ 継続に関する申請書（ｉ）において「予約採用の申込を行った者」とは，高校時に現在給付を受けている給付奨学金の申請を行った者のことを指します。それ以外の者は，「在学採用の申込を行った者」欄に必要事項を記入してください。

給付型奨学金の在学採用（秋期）を申請予定（申請中）の場合，次のⅲⅳの書類を提出。

ⅲ 大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者の認定に関する申請書（以下，認定に関する申請書と表記）

ⅳ 給付型奨学金の在学採用（秋期）に申請したことを証明する書類
（スカラネットで申請した際に表示される受付番号の画面コピー，受付番号を転記したスカラネット入力下書き用紙1ページ目の写しなど）

⑤ ⅲについては，本人が自署してください。

⑥ 給付型奨学金の在学採用（秋期）の申請手続きの進捗状況により，申請期限までにⅳの証明書の提出が不可能である場合は，学生課に相談してください。

（３）　封筒（長形３号）
結果通知を封筒に入れて交付します。
所属している専攻・コース等及び学籍番号・氏名を表面に丁寧に記入して提出してください。

【経過措置希望者全員が提出する書類】

（４）　家庭調書
必ず本人が記入してください。（家庭調書記入例 参照）

（５）　住民票

① R2.7.1以降発行のもの。

② マイナンバーの記載がないもの。

③ 同一生計内の「世帯全員」のもの。
なお「同一生計」とは，同居・別居を問わず申請者と生計を一にすることで，具体的には，父母等と同居する家族全員及び就学や病気療養等により別居している家族が該当します。（別居独立の兄弟姉妹は該当しません。）

※ 学資負担者の世帯と住民票が別であっても，生計が同一である人がいる場合はそれぞれの世帯全員の住民票と，生計が同一である旨を説明した書類を提出してください。（本人及び就学者については提出しなくても構いません。）

（６）　令和元年分所得証明書（最新の所得証明書）

① 収入の有無にかかわらず同一生計内の世帯全員分。
ただし，就学者は除く。独立生計者は本人分も必要。

② 次表【収入を証明する書類の例】の「分類」に該当する者が世帯にいる場合は，**所得証明書に加えて次表の書類を提出すること**。

【収入を証明する書類の例】

分　　類	証　明　書　類　の　例	発行場所
・ 令和元年（平成31年）中に就職した者 ・ 令和2年に就職（予定を含む）した者	令和2年分（1月～12月）の年収見込証明書 ※ 年収見込証明書の取得が困難な場合は，月収（見込）証明書又は最新３か月分の給与明細書のいずれかを提出してください。ただし，この場合は賞与があるものと仮定して計算しますので，賞与がない場合はその旨を書面(労働条件通知書の写し等)で申し出てください。	勤務先 提出書類ﾁｪｯｸ表の別表参照
・ 令和元年（平成31年）中に退職した者 ・ 令和2年に退職（予定を含む）した者	退職（見込）証明書及び退職金支給日・支給額（見込）証明書 （支払われない場合もその旨記載した証明書）	勤務先 提出書類ﾁｪｯｸ表の別表参照
年金・恩給等の受給者（予定を含む）	令和元年（平成31年）分の公的年金等の源泉徴収票の写し及び支給窓口発行の最新の年金交付（改定）通知書（ハガキ）又は証書の写し ※遺族，母子，障害，個人年金等も含みます。	日本年金機構 各関係機関
無職無収入の者	無職無収入の申立書	申立者が作成
失業者	雇用保険受給資格者証の写し（受給期間が満了している場合は無職無収入の申立書）	ハローワーク
専門実践教育訓練給付金を受給している者	受給金額が証明できる書類	ハローワーク
生活保護受給世帯	生活保護受給証明書等(受給金額がわかるもの)	市区町村役場， 福祉事務所等
児童扶養手当を受給している者	児童扶養手当支給額証明書等 （受給額のわかるもの）	市区町村役場， 福祉事務所等

（７）　令和元年分課税証明書（住民税課税状況の記載がある最新のもの）
課税の有無にかかわらず，同一生計内の世帯全員分
ただし，就学者は除く。独立生計者は本人分も必要。
※ 「課税証明書」に所得金額の記載がある場合は「所得証明書」は不要。

（８）　授業料免除関係調査票
事実をありのままに記入し，申請者全員が提出してください。

（９）　アルバイト等収入報告書
収入の有無に関係なく申請者全員が提出してください。

【経過措置適用希望者のうち，該当者が提出する書類】

（１０）出身高校の成績証明書（**１年生のみ　私費留学生を除く**）

出身高校の成績証明書を提出してください。

ただし，以下の申請において提出済みの者については再度の提出は不要です。

・ 令和２年度入学料免除・猶予申請　　・ 令和２年度前期授業料免除申請

・ 令和２年度日本学生支援機構奨学金 貸与奨学金又は給付奨学金の申請

（１１）証明書（授業料免除状況）

この証明書は，就学者（兄弟姉妹）の授業料免除状況を証明するものです。

10月1日以降に発行されたものを提出してください。

※ 他の書類の提出期限と同じく10月15日（木）までに提出してください。

「授業料免除関係調査票」の「１．授業料免除状況」で「いる」と記入した者のみ，就学者（兄弟姉妹）が**授業料免除されているか否かにかかわらず提出**してください。

ただし，高校生以下（高等専門学校生については３年生以下）の就学者は不要です。

（１２）アルバイト料支払（見込）証明書

「アルバイト等収入報告書」でアルバイト等の収入を報告した人が提出してください。
アルバイト等の収入がある本人又は配偶者について，令和2年分(1月～12月)の収入（又は収入見込み）を雇用主に証明してもらってください。

ただし，令和元年（H31年）（H31.1.1～R1.12.31）にアルバイトで得た金額と受給した奨学金（返還の必要がないもの。貸与型奨学金は含まない。）の合計金額が100万円を超えない場合は，提出の必要はありません。（「アルバイト等収入報告書」のみ作成して提出してください。）

（１３）１か月当たりの生活費状況調べ

独立生計者と認められる者のうち，配偶者が無い者又は配偶者に十分な収入がないと思われる者は，令和2年度4月～9月の状況を記入してください。
それ以外の者の提出は不要です。

（１４）その他

家族及び本人が次の分類に該当する場合は，各証明書を提出してください。

分　　類	証　明　書　類　の　例	発行場所
令和2年10月1日現在で高校生以上の就学者がいる世帯	各学校所定様式の在学証明書 （**10月1日以降の発行日のもの**） ※ 他の書類の提出期限と同じく10月15日（木）までに提出してください。 なお，「証明書（授業料免除状況）」を提出している場合は提出不要です。（ただし，R元年度と同じ学校にR2年度も在学している場合に限る。）	就学先
障がい者のいる世帯	障がい者手帳等の写し	都道府県，病院等

● 長期療養者のいる世帯（申請日現在において６か月以上にわたる期間療養中の者又は療養を必要と認められる者）	・ 医師の証明書（長期療養を要する旨が記載されたもの）又は６か月以上にわたる長期療養が証明できる書類（発行から1年以内のもの） ・ 経常的に支出する金額を証明できるもの（領収書等） ・ 保険金を受給した場合は，受給した日・受給額等がわかる書類	病院，保険会社等
● 風水害等の被害を受けた者	・ 罹災証明書及び罹災額証明書 ・ 損害保険等支払証明書	市区町村役場等 保険会社等
● 盗難等の被害を受けた者	・ 被害届出証明書 ・ 損害保険等支払証明書	警察署 保険会社等
主たる家計支持者が単身赴任で別居中の世帯	・ 単身赴任の証明書 ・ 住居費等の実費が確認できるもの	市区町村役場 勤務先等
● 学資負担者が６ヶ月以内(R2.4.1～R2.9.30)に死亡した場合	・ 死亡確認ができる書類（戸籍抄本，死亡診断書等） ・ 生命保険金，退職金等の金額を確認できる書類	市区町村役場，病院等 保険会社，勤務先等
家族構成に変更がある場合（世帯構成員が別居独立した場合など）	該当者の住民票など，世帯から別居独立していることが証明できる書類	市区町村役場等
その他特別な事情について	免除選考を行うため，大学が必要と認める書類等	

●については，保険・損害賠償等による補填分を考慮します。

※ 申請書類及び証明書類の記載に虚偽の事実が判明した場合は許可を取り消すことがあります。

（令和2年度後期　学部）

参　考　　就学者及び未就学児の住民票・在学証明書関連書類の提出の要否について

就学者等	住民票	在学証明書	証明書(授業料免除状況)
大学生（国立）	△	×	○
大学生（公立，私立）	△	○	×
高専生（4，5年生）	△	×	○
高専生（1，2，3年生）	△	○	×
専門学校生	△	○	×
高校生	△	○	×
中学生	○	×	×
小学生	○	×	×
未就学児	○	×	×

○：必ず提出　　△：なくてもよい　　×：不要

授業料免除(学部後期分)　フローチャート

（申請時点において**１年生**で日本学生支援機構**給付奨学生である者**）

申請書類のダウンロード

http://www.naruto-u.ac.jp/campuslife/01/002.html
からダウンロード

↓

日本学生支援機構給付奨学金適格認定(家計判定)結果の確認

日本学生支援機構において適格認定の判定が完了した者については，スカラネットパーソナルに9月2日(水)以降順次，結果が表示されるので各自確認する。

↓

申請期限
令和2年10月15日(木)
17:15まで
(郵送する場合は，
10月15日(木)必着)

学生課学生係に申請書類を提出してください。
Ⅳ．提出書類(１)～(３)の書類を提出
期限を過ぎた場合は一切受理できません。

書類に不備がないように注意してください。

※ 選考結果通知書交付開始の掲示をするまでは，授業料の納付が猶予されます。
選考結果通知書が交付されるまでは，授業料を納付しないでください。

↓

選考結果通知
令和2年12月下旬(予定)

選考結果通知書の交付開始については，掲示でお知らせします。
学生課学生係窓口で通知書を交付します。

- 全額免除
- 1/3免除・半額免除・2/3免除 → 免除額を差し引いた残りの授業料の納付が必要
- 不許可 → 授業料全額の納付が必要

※ **免除申請の結果が，全額免除以外の者は，通知後速やかに結果に応じた額の授業料を納付してください。**

提出書類により取得した個人情報は，授業料免除者選考の事務手続きのために利用し，その他の目的には利用されません。

授業料免除(学部後期分)　フローチャート

（申請時点において**１年生**で日本学生支援機構給付奨学金を**申請予定である者**）

申請書類のダウンロード

http://www.naruto-u.ac.jp/campuslife/01/002.html
からダウンロード

↓

日本学生支援機構給付奨学金の在学採用(秋期)の申請をする

在学採用(秋期)の実施については，別途掲示にてお知らせします。

↓

申請期限
令和2年10月15日(木)
17:15まで
(郵送する場合は，
10月15日(木)必着)

学生課学生係に申請書類を提出してください。
Ⅳ．提出書類(１)～(３)の書類を提出
期限を過ぎた場合は一切受理できません。

書類に不備がないように注意してください。

※ 選考結果通知書交付開始の掲示をするまでは，授業料の納付が猶予されます。
選考結果通知書が交付されるまでは，授業料を納付しないでください。

↓

選考結果通知
令和2年12月下旬(予定)

選考結果通知書の交付開始については，掲示でお知らせします。
学生課学生係窓口で通知書を交付します。

↓

- 全額免除
- 1/3免除・半額免除・2/3免除 → 免除額を差し引いた残りの授業料の納付が必要
- 不許可 → 授業料全額の納付が必要

※ **免除申請の結果が，全額免除以外の者は，通知後速やかに結果に応じた額の授業料を納付してください。**

提出書類により取得した個人情報は，授業料免除者選考の事務手続きのために利用し，その他の目的には利用されません。

授業料免除(学部後期分)　フローチャート

（申請時点において**２年生以上**で日本学生支援機構**給付奨学生である者**）

申請書類のダウンロード

http://www.naruto-u.ac.jp/campuslife/01/002.html
からダウンロード

↓

日本学生支援機構給付奨学金適格認定(家計判定)結果の確認

日本学生支援機構において適格認定の判定が完了した者については，スカラネットパーソナルに9月2日(水)以降順次，結果が表示されるので各自確認する。

↓

経過措置の適用を希望するか否かを検討する。

経過措置を希望しない者
　Ⅳ．提出書類(１)～(３)の書類を提出

経過措置を希望する者
　Ⅳ．提出書類(１)～(１４)の書類を提出

※ Ⅳ．提出書類(１)～(１４)の家計等を評価する書類を申請期限までに提出できない場合は経過措置の適用を辞退したものと見なし，新選考基準による選考のみ行います。

希望しない

希望する

※ 経過措置の適用を当初から希望している者，迷っている者，スカラネットパーソナルに適格認定の結果が表示されるのが遅れている者等については，適格認定結果の表示を待たずに書類の準備をしておいてください。

↓

申請期限
令和2年10月15日(木)
17:15まで
(郵送する場合は，
10月15日(木)必着)

学生課学生係に提出してください。
期限を過ぎた場合は一切受理できません。
書類に不備がないように注意してください。

※ 選考結果通知書交付開始の掲示をするまでは，授業料の納付が猶予されます。
選考結果通知書が交付されるまでは，授業料を納付しないでください。

↓

選考結果通知
令和2年12月下旬(予定)

選考結果通知書の交付開始については，掲示でお知らせします。
学生課学生係窓口で通知書を交付します。

↓

- 全額免除
- 1/3免除・半額免除・2/3免除 → 免除額を差し引いた残りの授業料の納付が必要
- 不許可 → 授業料全額の納付が必要

※ 免除申請の結果が，全額免除以外の者は，通知後速やかに結果に応じた額の授業料を納付してください。

提出書類により取得した個人情報は，授業料免除者選考の事務手続きのために利用し，その他の目的には利用されません。

授業料免除(学部後期分)　フローチャート

（申請時点において**２年生以上**で日本学生支援機構給付奨学金を**申請予定である者**）

申請書類のダウンロード

http://www.naruto-u.ac.jp/campuslife/01/002.html
からダウンロード

↓

日本学生支援機構給付奨学金の在学採用(秋期)の申請をする

在学採用(秋期)の実施については，別途掲示にてお知らせします。

↓

経過措置の適用を希望するか否かを検討する。

経過措置を希望しない者
　Ⅳ．提出書類(１)～(３)の書類を提出
経過措置を希望する者
　Ⅳ．提出書類(１)～(１４)の書類を提出
※ Ⅳ．提出書類(１)～(１４)の家計等を評価する書類を申請期限までに提出できない場合は経過措置の適用を辞退したものと見なし，新選考基準による選考のみ行います。

希望しない → 申請期限

希望する → 申請期限

申請期限
令和2年10月15日(木)
17:15まで
(郵送する場合は，
10月15日(木)必着)

学生課学生係に提出してください。
期限を過ぎた場合は一切受理できません。
書類に不備がないように注意してください。

※ 選考結果通知書交付開始の掲示をするまでは，授業料の納付が猶予されます。
選考結果通知書が交付されるまでは，授業料を納付しないでください。

↓

選考結果通知
令和2年12月下旬(予定)

選考結果通知書の交付開始については，掲示でお知らせします。
学生課学生係窓口で通知書を交付します。

- 全額免除
- 1/3免除・半額免除・2/3免除 → 免除額を差し引いた残りの授業料の納付が必要
- 不許可 → 授業料全額の納付が必要

※ 免除申請の結果が，全額免除以外の者は，通知後速やかに結果に応じた額の授業料を納付してください。

提出書類により取得した個人情報は，授業料免除者選考の事務手続きのために利用し，その他の目的には利用されません。

授業料免除申請チェック表

（Ｒ２後期　学部）

所属　　携帯電話番号　　－　　－

学籍番号　　氏名

１，２のチェック項目で該当するものに✓を記入してください。

１ 私は，高等教育の修学支援新制度に基づく独立行政法人日本学生支援機構の給付型奨学金において，

□給付奨学生として採用されている。

□現在給付奨学生ではないが，令和２年秋期の在学採用に申請予定(もしくは申請中)である。

※ 原則として，給付型奨学金の申込を行わず授業料免除を受けることはできません。

２ 私は，令和２年度後期授業料免除申請において，経過措置の適用を

□希望する　□希望しない　□１年生であるため対象外である

※ 経過措置については，後期授業料免除申請のしおりの「Ⅱ．評価基準及び免除額」を参照。
※ 提出期限までに必要書類が提出できない場合，経過措置を受けることはできません。

３ 提出書類（後期授業料免除申請のしおり　Ⅳ．提出書類　参照）
提出する書類のチェック欄に✓を記入してください。

【申請者全員が提出する書類】

□授業料免除申請チェック表(本紙)

□封筒（長形３号）　（所属学籍・番号・氏名を表に記入したもの）

《給付奨学生の場合》

□大学等における修学の支援に関する法律による授業料減免の対象者の認定の継続に関する申請書

□給付奨学生であることを証明する書類

《給付型奨学金の在学採用(秋期)を申請予定(申請中)の場合》

□大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者の認定に関する申請書

□給付型奨学金の在学採用(秋期)に申請したことを証明する書類

【経過措置希望者全員が提出する書類】

□家庭調書

□住民票　（世帯全員，マイナンバー無し，R2.7.1以降発行のもの）

□令和元年分所得証明書（最新の所得証明書）

□収入を証明する書類(該当する場合のみ)

・（収入を証明する書類については，後期授業料免除申請のしおりの「Ⅳ．提出書類（７）【収入を証明する書類の例】」を参照
・ 平成31年1月1日以降に就職・対象した人がいる場合は別表も参照

□令和元年分課税証明書（住民税課税状況の記載がある最新の証明書）

□授業料免除関係調査票

□アルバイト等収入報告書

【次ページに続く】

授業料免除申請チェック表

（Ｒ２後期　学部）

【前ページより】

【経過措置適用希望者のうち，該当者が提出する書類】

チェック欄	提出書類又は考慮できる事由	該当者の続柄	備　考
	出身高校の成績証明書（１年生のみ） ※提出済みの場合，以下のどの申請で提出したか。 □ 令和2年度入学料免除・猶予 □ 令和2年度授業料免除 □ 令和2年度日本学生支援機構貸与奨学金 □ 令和2年度日本学生支援機構給付奨学金	本人	具体的な提出書類等については，後期授業料免除申請のしおりの「Ⅳ．提出書類【経過措置適用希望者のうち，該当者が提出する書類】」を参照
	証明書（授業料免除状況）		
	アルバイト料支払（見込）証明書	本人	
	１か月当たりの生活費状況調べ	本人	
	高校生以上の就学者がいる世帯 (在学証明書)		
	障がい者のいる世帯		
	長期療養者のいる世帯		
	風水害等の被害を受けた場合		
	盗難等の被害を受けた場合		
	主たる家計支持者が単身赴任で別居中の世帯		
	学資負担者が６ヶ月以内(R2.4.1～R2.9.30)に死亡した場合		
	家族構成に変更がある場合		
	その他		

（授業料免除申請チェック表　別表）

【令和元年（平成31年），令和2年に就職又は退職した人がいる場合の書類の提出例（予定含む）】

○：必ず提出　△：状況に応じ提出　×：提出不要

職業等	該当者（続柄）を記入	住民票	略歴（H31.1～）	課税証明書（最新のもの）	所得証明書（最新のもの）	R2.3まで在学していたことを証明する書類	年収見込証明書	源泉徴収票	無職無収入の申告書	雇用保険受給証明書（写）	退職（予定）証明書	退職金支給日・支給額（予定）証明書	その他
R2.4から就職（R2.3まで学生の場合）		○ 世帯全員分と記載されているR2.7.1以降に発行されたもの。マイナンバーなし。	○ A4サイズの用紙にメモ書きしたもので可。	○ R2.3まで在学していたことを証明する書類の提出により省略できる。	○ R2.3まで在学していたことを証明する書類の提出により省略できる。課税証明書に所得金額が記載されている場合も不要。	○ 在学証明書・学生証（写）など。課税証明書・所得証明書を提出する場合は不要。	○ R2.4～R3.3分。取得が困難な場合は最新3ヶ月分の給与明細書（写）等	×	×	×	×	×	△ 大学が必要と認める書類。（事情によって提出を求める場合があります。）
H31.1以降に就職		○ 世帯全員分と記載されているR2.7.1以降に発行されたもの。マイナンバーなし。	○ A4サイズの用紙にメモ書きしたもので可。	○	○ 課税証明書に所得金額が記載されている場合は不要。	×	○ H2.1～R2.12分。取得が困難な場合は最新3ヶ月分の給与明細書（写）等	○ 令和元年（平成31年）分 ただし，R2.1以降に就職した場合は不要	×	×	×	×	△ 大学が必要と認める書類。（事情によって提出を求める場合があります。）
H31.1～R元.12に退職		○ 世帯全員分と記載されているR2.7.1以降に発行されたもの。マイナンバーなし。	○ A4サイズの用紙にメモ書きしたもので可。	○	○ 課税証明書に所得金額が記載されている場合は不要。	×	×	○ 令和元年（平成31年）分 退職金の源泉徴収票も必要	○ 再就職した場合は不要。	○ 定年退職の場合は不要。	○ 退職金の源泉徴収票を提出する場合は不要。	○ 退職金の源泉徴収票を提出する場合は不要。	△ 大学が必要と認める書類。（事情によって提出を求める場合があります。）
R2.1～R2.9の間に退職		○ 世帯全員分と記載されているR2.7.1以降に発行されたもの。マイナンバーなし。	○ A4サイズの用紙にメモ書きしたもので可。	○	○ 課税証明書に所得金額が記載されている場合は不要。	×	×	○ 令和2年分 退職金の源泉徴収票も必要	○ 再就職した場合は不要。	○ 定年退職の場合は不要。	○ 退職金の源泉徴収票を提出する場合は不要。	○ 退職金の源泉徴収票を提出する場合は不要。	△ 大学が必要と認める書類。（事情によって提出を求める場合があります。）

※平成31年1月以降に退職し再就職した場合等の提出書類は，上記の例の組合せによる。

別記様式第７号（第３条関係）

大学等における修学の支援に関する法律による
授業料減免の対象者の認定の継続に関する申請書

年　　月　　日

鳴門教育大学長 殿

私は、貴学に対し、大学等における修学の支援に関する法律による授業料減免の対象者としての認定の継続を申請します。

申請にあたって、私は以下の事項を確認し、理解しています。

◆ この申請書の記載事項は事実と相違ありません。なお、申請書の記載事項に事実と相違があった場合、認定を取り消され、減免を打ち切られることがあるとともに、在学する学校から減免を受けた金額の支払を求められることがあることを承知しています。
◆ 授業料等減免の対象者の認定手続きにおいて、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「機構」という。）を通じ、鳴門教育大学が機構の保有する私の給付奨学金に関する情報の送付を受けること及び機構が鳴門教育大学の保有する私の授業料等減免等に関する情報の送付を受けることに同意します。

※以下のすべての項目を申請者本人が記入してください。

<table>
<tr><td rowspan="7">申請者</td><td>フリガナ</td><td></td><td rowspan="2">入学年月</td><td rowspan="2">年　　月入学</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td></td></tr>
<tr><td>生年月日</td><td colspan="3">（西暦）　　年　　月　　日生　（　　歳）</td></tr>
<tr><td>現住所</td><td colspan="3">〒　　－
都道府県　　市区町村</td></tr>
<tr><td>所　属</td><td></td><td>学籍番号
（学年）</td><td>（　　年）</td></tr>
<tr><td colspan="4">日本学生支援機構の給付奨学金に関する情報
※給付奨学生であることを証明する書類を添付すること。</td></tr>
<tr><td colspan="2">給付奨学金の奨学生番号</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

別記様式第６号（第３条関係）

大学等における修学の支援に関する法律による
授業料等減免の対象者の認定に関する申請書

年　　月　　日

鳴門教育大学長 殿

私は、貴学に対し、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者としての認定を申請します。

申請にあたって、私は以下の事項を確認し、理解しています。

◆ この申請書の記載事項は事実と相違ありません。なお、申請書の記載事項に事実と相違があった場合、認定を取り消され、減免を打ち切られることがあるとともに、在学する学校から減免を受けた金額の支払を求められることがあることを承知しています。
◆ 授業料等減免の対象者の認定手続きにおいて、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「機構」という。）を通じ、鳴門教育大学が機構の保有する私の給付奨学金に関する情報の送付を受けること及び機構が鳴門教育大学の保有する私の授業料等減免等に関する情報の送付を受けることに同意します。
◆ 現在、他の学校において、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免を受けておらず、当該授業料等減免の対象者の認定申請中でもありません。

※以下のすべての項目を申請者本人が記入してください。（＊を附した項目については、該当者のみ記入すること。）

<table>
<tr><td rowspan="8">申請者</td><td>フリガナ</td><td colspan="3"></td><td rowspan="2">入学年月</td><td rowspan="2">年　　月入学</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>生年月日</td><td colspan="6">（西暦）　　年　　月　　日生　（　　歳）</td></tr>
<tr><td>現住所</td><td colspan="6">〒　　－
都道　　市区
府県　　町村</td></tr>
<tr><td>所　属</td><td colspan="2"></td><td>学籍番号
（学年）</td><td colspan="3">（　　年）</td></tr>
<tr><td colspan="2">過去に本制度の支援を受けた学校名、期間（＊）</td><td colspan="2">（学校名）</td><td colspan="3">期間/月数）
年　月～　年　月／　月</td></tr>
<tr><td colspan="5">過去に本制度の入学金減免を受けたことがありますか。</td><td colspan="2">あ　る　・　な　い</td></tr>
<tr><td colspan="7">機構の給付奨学金に関する情報
（いずれかの□に✓印を付け、右欄に該当する番号を記載してください。）
※以下の身分であることを証明する書類の写しを添付すること。
□　予約採用の申込を行った者
**【給付奨学金の申込の受付番号
（採用候補者となっていれば受付番号）
（給付奨学生となっていれば奨学生番号）】**
□　在学採用の申込を行った者
**【給付奨学金の申込の受付番号
（給付奨学生となっていれば奨学生番号）】**</td></tr>
</table>

（R2 授業料）

（令和2年10月1日現在）

家　庭　調　書

学籍番号	

ﾌﾘｶﾞﾅ		所属	学校教育研究科	第　　年次
氏名			学校教育学部	第　　年次

本人現住所	〒（　　）　☎（　　）	家族住所	〒（　　）　☎（　　）

家族及び所得（主たる家計支持者に○印・別居者に×印）

就学者を除く家族

続柄	氏名	年齢	現在の職業	在職期間	勤務先	給与所得の収入金額（税込）	所得金額（税込）
父				年		千円	千円
※　死亡・生別・無職等の場合　その年月（　　年　　月）							
母				年		千円	千円
※　死亡・生別・無職等の場合　その年月（　　年　　月）							
				年		千円	千円
				年		千円	千円
				年		千円	千円
				年		千円	千円
所得金額（就学者を除く家族）合計							①　　千円

就学者

続柄	氏名	年齢	在学学校名	学年	通学別	本人の奨学金及びアルバイト等の収入金額（年額）
本人			国立鳴門教育大学		※自宅・自宅外	奨学金　　千円
			立		※自宅・自宅外	
			立		※自宅・自宅外	アルバイト　　千円
			立		※自宅・自宅外	
本人の奨学金及びアルバイト等の収入金額（合計）						②　　千円

身体障害者	本人との続柄	障害の種別	手帳番号	長期療養者	本人との続柄	病気の状況

収入状況

給与所得	商・工・林・水産業所得	農業所得（1反=10a=1,000㎡）	その他の職業・雑所得	左記以外の臨時所得
（収入金額を記入） 給与・賃金（賞与を含む）　千円 役員報酬（賞与を含む）　千円 専従者給与　千円 年金・恩給　千円 扶助料　千円 その他（　）　千円	営業種目（　） 営業形態 ※1　個人経営 2　同族会社 3　その他（　） 設備 機械　台 車両　台 その他（　） 従事者 家族　人 使用人　人	農作物　作付延面積 米・麦・雑穀　a 野菜・果実・園芸等　a その他（　）　a 従事者 家族　人 使用人　人 米・麦・雑穀　千円 野菜・果実・園芸等　千円 その他（　）　千円	職種（　）　千円 家賃・地代　千円 利子・配当　千円 その他（　）　千円	退職金　千円 退職一時金　千円 保険金　千円 資産譲渡　千円 山林所得　千円 その他（　）　千円
	売上高計　千円	収入金額計　千円	収入金額計　千円	収入金額計　千円
収入金額計（税込）　千円	必要経費　千円	必要経費　千円	必要経費　千円	必要経費　千円
所得金額（税込）　千円	差引所得金額（利益金額）（税込）　千円	差引所得金額（税込）　千円	差引所得金額（税込）　千円	差引所得金額（税込）　千円
所得金額（①）＋本人収入（②）の合計				③　　千円

（注）　1　※印のところは○印で囲むこと。
　　2　記入にあたっては，必ず「申請のしおり」を参照すること。
　　3　千円未満の端数は切り捨てること。

家　庭　調　書

（令和2年10月1日現在）

学籍番号	20720001　※新入生は記入しない

ﾌﾘｶﾞﾅ	ﾅﾙﾄ　ｷｮｳｺ	所属	学校教育研究科	(大学院生はこの欄にコース名を記入) 第 1 年次
氏名	鳴門教子		学校教育学部	(学部生はこの欄にコース名を記入) 第 1 年次

本人現住所	〒（772-0051）　☎（090-1234-5678） 鳴門市鳴門町高島字中島99－7 学生宿舎5－201	家族住所	〒（772-8502）　☎（088-687-XXXX） 鳴門市鳴門町高島字中島748

家族及び所得（主たる家計支持者に○印・別居者に×印）

就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	現在の職業	在職期間	勤務先	給与所得の収入金額（税込）	所得金額（税込）
	父	鳴門学	51	農業	33 年	自宅	千円	1,561千円
	※ 死亡・生別・無職等の場合　その年月（　年　月）							
	母	鳴門育美	47	農業	22 年	自宅	1,200	
	※ 死亡・生別・無職等の場合　その年月（　年　月）							
	祖父	鳴門大吉	80	無職	年	年金受給者	1,269	
	兄	鳴門勝夫	25	会社員	2 年	徳島建設㈱	3,043	
	姉	鳴門文	24	家事手伝い	年			
	所得金額（就学者を除く家族）合計							① 記入しない 千円

就学者	続柄	氏名	年齢	在学学校名	学年	通学別	本人の奨学金及びアルバイト等の収入金額（年額）
	本人	鳴門教子	22	国立鳴門教育大学大学院	1	※自宅・自宅外	奨学金　360千円
	兄	鳴門勉	20	国立徳島大学	3	※自宅・自宅外	
	妹	鳴門潮美	17	県立徳島高等学校	3	※自宅・自宅外	アルバイト　57千円
				立		※自宅・自宅外	
	本人の奨学金及びアルバイト等の収入金額（合計）						②　446千円

身体障害者 本人との続柄	障害の種別	手帳番号	長期療養者 本人との続柄	病気の状況
姉	○○○○　3級	12345	祖父	○　○　○　○　○

収入状況

※収入状況は分かる範囲で記入してください。

給与所得	商・工・林・水産業所得	農業所得（1反=10a=1,000㎡）	その他の職業・雑所得	左記以外の臨時所得
（収入金額を記入） 給与・賃金（賞与を含む）　千円 役員報酬（賞与を含む）　千円 専従者給与　千円 年金・恩給　千円 扶助料　千円 その他（　）　千円	営業種目（　） 営業形態 ※1 個人経営 2 同族会社 3 その他（　） 設備 機械　台 車両　台 その他（　） 従事者 家族　人 使用人　人	農作物　作付延面積 米・麦・雑穀　a 野菜・果実・園芸等　a その他（　）　a 従事者 家族　人 使用人　人 米・麦・雑穀　千円 野菜・果実・園芸等　千円 その他（　）　千円	職種（　）　千円 家賃・地代　千円 利子・配当　千円 その他（　）　千円	退職金　千円 退職一時金　千円 保険金　千円 資産譲渡　千円 山林所得　千円 その他（　）　千円
売上高計　千円		収入金額計　千円	収入金額計　千円	収入金額計　千円
収入金額計（税込）　千円	必要経費　千円	必要経費　千円	必要経費　千円	必要経費　千円
所得金額（税込）　千円	差引所得金額（利益金額）（税込）　千円	差引所得金額（税込）　千円	差引所得金額（税込）　千円	差引所得金額（税込）　千円
所得金額（①）＋本人収入（②）の合計				③ 記入しない 千円

（注）　1　※印のところは○印で囲むこと。
　　2　記入にあたっては，必ず「申請のしおり」を参照すること。
　　3　千円未満の端数は切り捨てること。

年間収入（見込）証明書

被雇用者住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

被雇用者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

被雇用者生年月日　　年　　月　　日

雇用年月日　　年　　月　　日

給与支払状況

対象月	支払(予定)額	対象月	支払(予定)額
令和2年1月	円	令和2年10月	円
令和2年2月	円	令和2年11月	円
令和2年3月	円	令和2年12月	円
令和2年4月	円	令和2年1月	円
令和2年5月	円	令和2年2月	円
令和2年6月	円	令和2年3月	円
令和2年7月	円	夏期賞与	円
令和2年8月	円	冬期賞与	円
令和2年9月	円	合　計	円

※ 金額は支払総額

年間収入（見込）額について上記のとおり証明します。

令和　　年　　月　　日

所　在　地＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

事業所名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

代表者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

（R2 授業料）

無職無収入の申立書

令和　　年　　月　　日

鳴門教育大学長　　殿

免除申請者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

申立者氏名
（申請者との続柄）　　（　　）

令和２年度後期授業料免除の申請にあたり，申立者は下記のとおり無職無収入であることに相違ありません。

記

無職である事情や現在の状況（具体的に記入すること）

(注)申立者が自署すること

（R2　後期）

授業料免除関係調査票

申請者　学籍番号・氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

１．授業料免除状況

就学者（兄弟姉妹）のうち，**国立の**高専以上の学校（高専（4年，5年），大学，大学院等）に通っている者が，

□ いる　・・・　下表に記入してください。

□ いない　・・・　記入終了。

※ 就学者(兄弟姉妹)が通う学校が公立又は私立である場合は，「いない」を選択してください。

就学者(兄弟姉妹)の氏名及び学年	学校名・学部名等	入学年度(西暦)	令和元年（平成31年）度免除状況	
			前期	後期
(氏名) (学年)		年	□全額免除 □半額免除 □免除不許可 □申請無し □免除(その他) (　　)	□全額免除 □半額免除 □免除不許可 □申請無し □免除(その他) (　　)
(氏名) (学年)		年	□全額免除 □半額免除 □免除不許可 □申請無し □免除(その他) (　　)	□全額免除 □半額免除 □免除不許可 □申請無し □免除(その他) (　　)
(氏名) (学年)		年	□全額免除 □半額免除 □免除不許可 □申請無し □免除(その他) (　　)	□全額免除 □半額免除 □免除不許可 □申請無し □免除(その他) (　　)
(氏名) (学年)		年	□全額免除 □半額免除 □免除不許可 □申請無し □免除(その他) (　　)	□全額免除 □半額免除 □免除不許可 □申請無し □免除(その他) (　　)

・ 該当する項目の□欄に✓マークを入れてください。
・ 全額・半額以外の免除額の場合は「免除(その他)」を選択し，免除額の割合を（　）内に記入してください。

（R2　後期）

アルバイト等収入報告書

本人又は配偶者の収入について

１．前年（H31.1.1～R1.12.31）に収入がありましたか。　（はい・いいえ）

２．当年（R2.1.1～R2.12.31）に収入がある予定ですか。　（はい・いいえ）

上記１，２の質問に「いいえ」と答えた人は，記入終了です。

上記の質問に1つでも「はい」と答えた人は，下欄に必要事項を記入し，アルバイト先ごとに別紙「アルバイト料支払（見込）証明書」を添付してください。（添付の例外あり。「授業料免除申請のしおり」参照。）

アルバイト先名称	職種	期間（雇用期間の始期と終期）	収入金額（年額・税込）			収入を得た者（いずれかを○）
			令和元年	令和2年		
			1～12月	1～7月	8～12月	
						本人 配偶者
						本人 配偶者
						本人 配偶者
						本人 配偶者
計　A						

注）1. 令和元年の収入金額は，1月から12月までの間に実際に得た金額を記入してください。
2. 令和２年の収入金額は，1月から7月までの間に実際に得た金額と，8月から12月（見込額を含む）に分けて記入してください。

給付奨学金等，返還の必要が無い奨学金の額

給付奨学金等の名称	収入金額（年額）			収入を得た者（いずれかを○）
	令和元年	令和2年		
	1～12月	1～7月	8～12月	
				本人 配偶者
				本人 配偶者
計　B				
A+B				

注）3. Ｂ欄の金額は，「家庭調書」の奨学金欄に年額を計上してください。

上記のとおり相違ありません。

令和　　年　　月　　日

申請者　（ 学部 ・ 大学院 ）　第　　年次

学籍番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（R2　後期）

アルバイト等収入報告書

本人又は配偶者の収入について

１．前年（H31.1.1～R1.12.31）に収入がありましたか。　（はい・いいえ）

２．当年（R2.1.1～R2.12.31）に収入がある予定ですか。　（はい・いいえ）

上記１，２の質問に「いいえ」と答えた人は，記入終了です。

上記の質問に1つでも「はい」と答えた人は，下欄に必要事項を記入し，アルバイト先ごとに別紙「アルバイト料支払（見込）証明書」を添付してください。（添付の例外あり。「授業料免除申請のしおり」参照。）

アルバイト先名称	職種	期間（雇用期間の始期と終期）	収入金額（年額・税込）			収入を得た者（いずれかを○）
			令和元年	令和2年		
			1～12月	1～7月	8～12月	
○○宅	家庭教師	R1.10～R1.12	20,000			本人・配偶者
○○スーパー	レジ	R1.7～R2.4	57,000	21,000		本人・配偶者
○○ホテル	フロント	R2.1～R2.11		70,000	50,000	本人・配偶者
						本人・配偶者
計　A			77,000	91,000	50,000	

注）1. 令和元年の収入金額は，1月から12月までの間に実際に得た金額を記入してください。
2. 令和２年の収入金額は，1月から7月までの間に実際に得た金額と，8月から12月（見込額を含む）に分けて記入してください。

給付奨学金等，返還の必要が無い奨学金の額

給付奨学金等の名称	収入金額（年額）			収入を得た者（いずれかを○）
	令和元年	令和2年		
	1～12月	1～7月	8～12月	
日本学生支援機構　給付奨学金	360,000	210,000	150,000	本人・配偶者
				本人・配偶者
計　B	360,000	210,000	150,000	
A+B	437,000			

注）3. Ｂ欄の金額は，「家庭調書」の奨学金欄に年額を計上してください。

上記のとおり相違ありません。

令和　　年　　月　　日

申請者　（ 学部 ・ 大学院 ）　第　　年次

学籍番号　１１１１１１１１　　氏名　鳴門　教子

（R2 後期）

証明書（授業料免除状況）

※大　学　　※学　部
国立　　大学院　　研究科　　年

国立　　高等専門学校　　年

氏名（自署）

このたび，鳴門教育大学に在学中の私の※兄・弟・姉・妹（氏名　　）が，［※入学料免除・徴収猶予，授業料免除　］の申請をいたしますので，免除状況を下記により証明願います。

記

入学年度		年度入学				
通学状況		※ 自宅・自宅外　　通学				
令和元年度 (平成31年度) 免除状況	前期分	全額免除	半額免除	不許可	申請なし	令和2年度入学のため，該当しない
		円	円			
	後期分	全額免除	半額免除	不許可	申請なし	令和2年度入学のため，該当しない
		円	円			

（注）※の箇所は，該当する事項を○で囲んでください。

上記のとおり証明します。

令和　２年　　月　　日

大学　　学部

高等専門学校

係　氏名　　（印）

アルバイト料支払（見込）証明書

鳴門教育大学　（ 学部 ・ 大学院 ）　　年次

申請者氏名

授業料免除申請をしますので，私のアルバイト料について下記により証明してくださるようお願いいたします。

記

被雇用者氏名	
仕 事 内 容	
雇 用 期 間	年　　月から　　年　　月（予定）まで
令和２年中 (1月～12月) の支払(見込)額	円（　　月から　　月（予定）まで　　月分）

上記のとおり証明します。

令和　　年　　月　　日

雇用者住所

雇用者氏名　　印

電 話 番 号　　－　　－

アルバイト料支払（見込）証明書

（記入例）

鳴門教育大学　（ 学部 ・ 大学院 ）　1　年次

申請者氏名　　**鳴　門　教　子**

授業料免除申請をしますので，私のアルバイト料について下記により証明してくださるようお願いいたします。

記

被雇用者氏名	**鳴　門　教　子**
仕 事 内 容	**コンビニエンスストアー　レジ**
雇 用 期 間	**令和 ２ 年 ４ 月 から 令和　３ 年 ３ 月（予定）まで**
令和２年中 (1月～12月) の支払(見込)額	**１０７，０００ 円（ ４月から １２月（予定）まで ９か月分）**

上記のとおり証明します。

令和 ○○ 年 ○ 月 ○ 日

雇用者住所　　**鳴門市鳴門町高島**

雇用者氏名　　**高　島　　育　夫**　　印

電 話 番 号　　**０８８　－　６３３　－　××××**

（Ｒ２　後期）

1ヶ月あたりの生活費状況調べ

(R2.4月～R2.9月の間で，ひと月あたりの平均的な収支を記入してください。)

申請者　学籍番号・氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

収入			支出		
1	父母からの給付額 （送金方法を記入　ex.銀行振込等） ［　　］	円	1	食　費	円
			2	住居費	円
2	アルバイト等	円	3	光熱水費	円
			4	通学交通費	円
3	給付奨学金等	円	5	教育費　※ 前期授業料　円 授業料月額　円	円
			6	小遣い	円
4	その他	円	7	その他	円
		円			円
		円			円
収入計		円	支出計		円
収入計－支出計					円

備考欄（生活費が不足する場合の補填方法等）

※ 教育費には，１ヶ月あたりの授業料額(授業料半期分÷６ヶ月)を含めてください。
授業料免除を受けた人は，免除額を除いた額で計算してください。